

# 善利組普請

伝統を受け継ぎ、歴史を育むまち

彦根城下町が抱える歴史的遺産を継承し発展させるために、本案では新辻の導入とかるむ広場の新設によって歴史的な文脈と文化的財産を未来へ継ぎ、少子高齢化、脱社社会、防災へ対応した新しいコミュニティ「かるむまち」を構築する。未来に向けた現在の取り組みによって、新たな歴史を作り出す。

## かるむまち

「かるむ」とは、主に4人で遊ぶボードゲームであるが、現在は彦根を中心とする地域にしか残っていない。老若男女が顔を付き合せて遊ぶ姿に、彦根城下町のまちづくりの姿を重ね、世代を超えた交流を目指すまち「かるむまち」の実現を、芹橋地区から実施する。

## 歴史的な文脈の理解

### 彦根城下町

現存する要塞都市  
堀、川、どんつき、食い違い

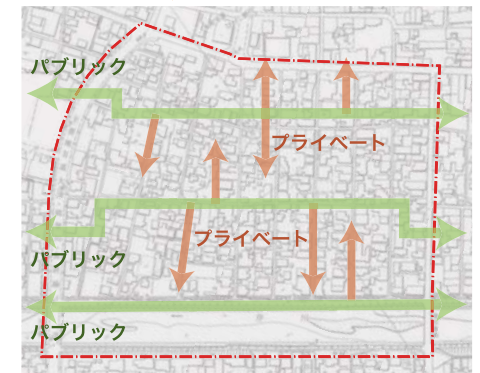
城と平行な道路(ヨコ軸)では、現在も、食い違いやどんつきが連続して続いている。芹橋地区の食い違いやどんつきはその一部である。

約400年前、彦根城の築城に伴い城下町が整備された。芹川の付け替えや埋め立て等の土木工事で、城から武家屋敷、商家、足軽屋敷に至るまで、綿密な都市計画が可能になり、町全体で大軍を迎え撃つ要塞都市が完成した。

城に向かう軸に対しては芹川から内堀まで合計4層の堀や川に囲まれ、それに直交する軸に対しては食い違いやどんつき等が至る所に配され、防衛のための巧妙な仕掛けが城下全域に行き渡っている。その近世城下町の完成した形がほぼそのまま残っている全国的にも貴重な地域が彦根である。

## 善利組

異なる性格の二軸  
プライベートな街並軸(タテ軸)  
パブリックな旧辻/生活軸(ヨコ軸)

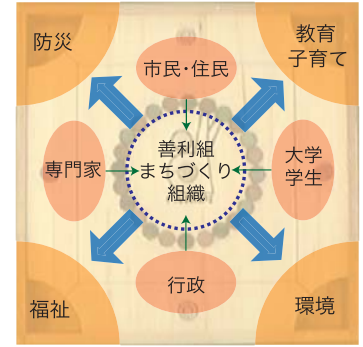


対象地区である芹橋二丁目には江戸時代、足軽組の中でも最も規模が大きい善利組が屋敷を連ねていた。食い違いを配した東西に抜ける道(本案では旧辻又は生活軸)やどんつき、等間隔にある南北方向の道(本案では街並軸)、町割りが現在も引き継がれている。大半の足軽組屋敷の入り口は街並軸に面していて、趣のある街並を形成していたことが想像できる。それに対し、旧辻は食い違いを配しながら東西に長く延びており、他の足軽組をつなぎ合わせる意味合いを持っていただけと思われる。このことから、芹橋二丁目の旧辻はパブリックな雰囲気、街並軸はプライベートな雰囲気を持っていたことが想像される。

## 実現に向けた方針と政策

### ◆4つの主体の協働による4つの目標の実現

相関ダイヤグラム



◆4つの目標と4つの主体  
芹橋地区のまちづくりにおいては、①防災(安全なまち)・②福祉(高齢者にやさしいまち)・③子育て(子供のあそべるまち)・④教育(歴史を体験できるまち)の実現が目標である。実現に向けては、①市民・住民、②行政、③専門家、④大学・学生の4つの主体が一体となった活動が不可欠であり、長期にわたる4者の協働がまちづくりの実現の鍵となる。この4者の協働の場が「善利組まちづくり組織」である。善利組まちづくり組織においてそれぞれの主体が柔軟な横の繋がりをもち、早期の計画推進を図りたい。

◆歴史まちづくり法に基づく彦根市の「歴史的風致維持向上計画」補助金が10年計画で策定されている。まず、本提案の実現性の調査を実施することで、新たな歴史作りの礎となる。

### ◆目標実現に向けた具体的な計画の策定

Table with 4 columns (Disaster, Welfare, Education, Environment) and 4 rows (Government, Specialist, Student, Resident) detailing specific plans for each intersection.

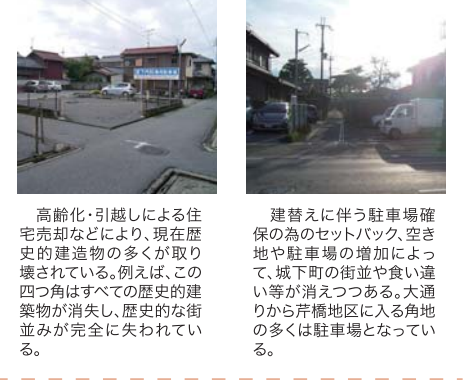
### ◆実現に向けたタイムスケジュール

Timeline table showing progress from 2 years to 10 years for various initiatives like new street construction and disaster prevention.

## 線的整備(タテ軸・ヨコ軸)

### タテ軸(街並軸)の整備

#### ◆歴史的建築の消失 ◆不揃いな街並

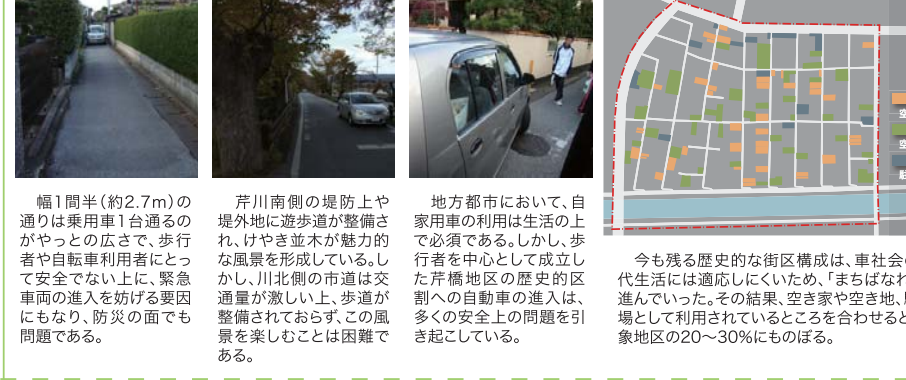


#### ◆歴史的街並の再生

◆ファサードの整備  
◆路面の整備  
◆歴史的建物の活用  
◆どんつきを生かす  
◆長期滞在宿:足軽ドミトリー  
◆けやきスポットへ向かう軸

### ヨコ軸(生活軸)の整備:新辻の導入

#### ◆狭い道路幅員 ◆芹川との断絶 ◆人と車が同居 ◆空地の増加



#### ◆新辻の導入

◆緊急車両の通行、避難経路の確保  
◆旧辻(生活軸)、街並軸の三項道路指定  
◆駐車場の整備  
◆旧辻の整備  
◆芹川けやきロード  
◆自然に親しむ

#### ◆芹川けやきロード

◆自然に親しむ  
◆自然に親しむ  
◆自然に親しむ

現状分析

提案

現状分析

提案

## 芹橋地区から広域ネットワークへの展開

### ◆城下町観光ゾーン

彦根城から夢楽橋キャスルロード、芹橋地区を通り芹川に抜ける南北の軸は、彦根藩主から足軽まで、江戸時代の人々の暮らしが感じられる軸として整えられる。

### ◆生活ゾーン

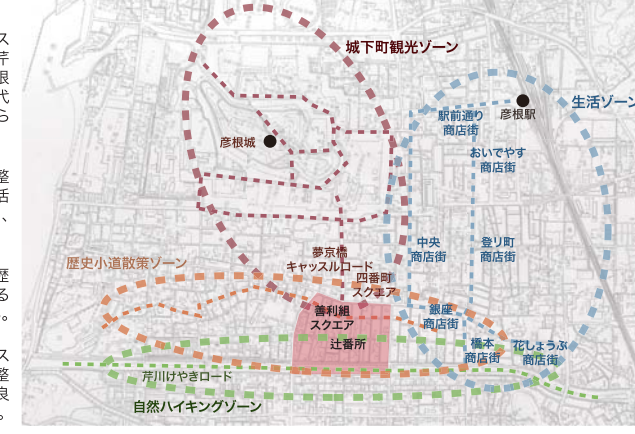
芹橋地区北側の道路の整備によって観光ゾーンと生活ゾーンとの関係が強くなり、商店街の活性化に繋がる。

### ◆歴史小道散策ゾーン

東西の小道が整備され、歴史的な食い違いを感じながら散策ゾーンとして整えられる。

### ◆自然ハイキングゾーン

親水性を良くするけやきスポットの配置等で芹川を再整備することで、住民にとって良好な生活環境が整えられる。



## 面的整備(タテ×ヨコ=面)

### コミュニティ・防災拠点「かるむ広場」

新辻と街並軸の交点に生活者のためのコミュニティ再生拠点や防災の拠点となる「かるむ広場」を整備する。

#### ◆日常生活の充実

◆コミュニティの再生  
◆ゴミ収集所  
◆防災、防犯機能の強化  
◆消火栓、防火水槽  
◆見守り  
◆夜の灯行

#### ◆観光客を呼び込む

◆観光客を呼び込む  
◆観光客を呼び込む  
◆観光客を呼び込む

## 観光拠点「善利組スクエア」・「足軽ゲストハウス」

#### ◆観光客を呼び込む

◆観光客を呼び込む  
◆観光客を呼び込む  
◆観光客を呼び込む

#### ◆観光のネットワーク

◆主要観光軸  
◆街並、自然散策ルート  
◆歴史小道散策ルート  
◆自然散策ルート

